

# 福島復興の課題

福島復興・創生に関する高校生と九都県市首脳との意見交換会  
平成28年10月26日

福島県立福島高等学校

スーパーサイエンス部放射線班

2年 鈴木太郎 法井美空 佐々木絢奈 熊谷りさ

## 1. 福島高校SS部放射線班の研究

福島県内外の高校生及び教員の個人外部被ばく線量を調査

対象者・測定期間 合計 216人

2014年6月18日～7月1日(日本)  
県内6校【68人】,県外6校【63人】

10月～12月(海外)  
12地域

(フランス【40人】,ベラルーシ【12人】,ポーランド【28人】)



# 結論

- 線量率の分布は、福島県内と県外・ヨーロッパはほぼ同等である

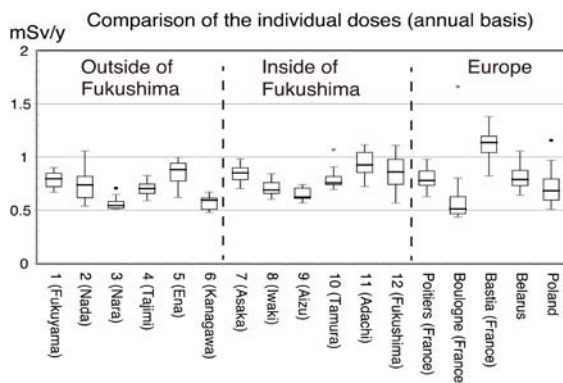


- 福島の高校生が他の学校の生徒と比べて著しく高い値をとっているわけではない

## 放射線班の論文がJournal of Radiological Protectionに掲載

高校生の個人線量には福島県内外で差はなかった

参加した高校生216名が第一著者として投稿に参加



<http://iopscience.iop.org/journal/0952-4746>

# 福島復興の課題

福島の現状を自分自身の目で見て理解すべき

福島の放射線量は  
他地域と大きな差  
はなく、生活するの  
に問題はない



福島に対する不  
安や偏見

## 2. 放射線防護ワークショップの開催

目的: 福島の実状を見て理解を深め、議論を通して福島について考える

日程: 2016年8月15~20日

参加生徒(人数):

福島、東京 【2校/15人】  
フランス 【3校/ 9人】  
マレーシア 【3校/ 3人】  
インドネシア【1校/ 2人】  
合計 29人



## ワークショップ前...

健康に影響はないのかな？

福島の食べ物は危険だから食べられない？

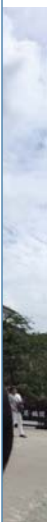
福島に行くことは危険なこと？

福島ってゴーストタウンなのかなあ？



## 活動内容

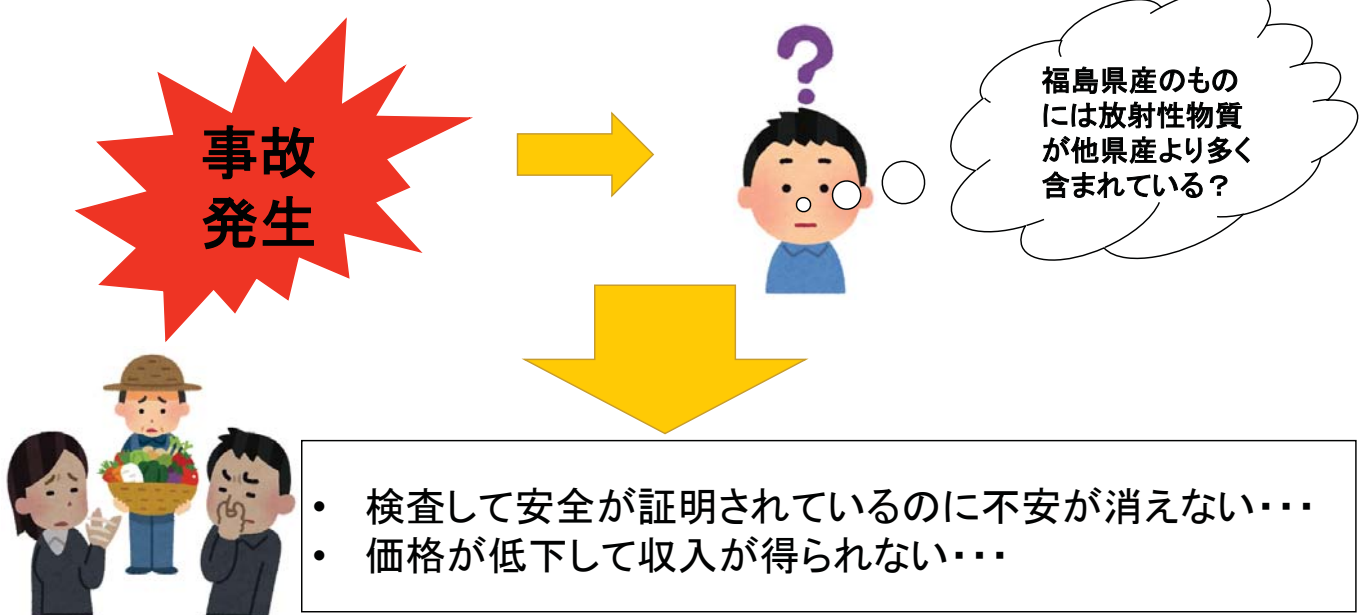
### ディスカッション/プレゼン発表



ワークショップ後...

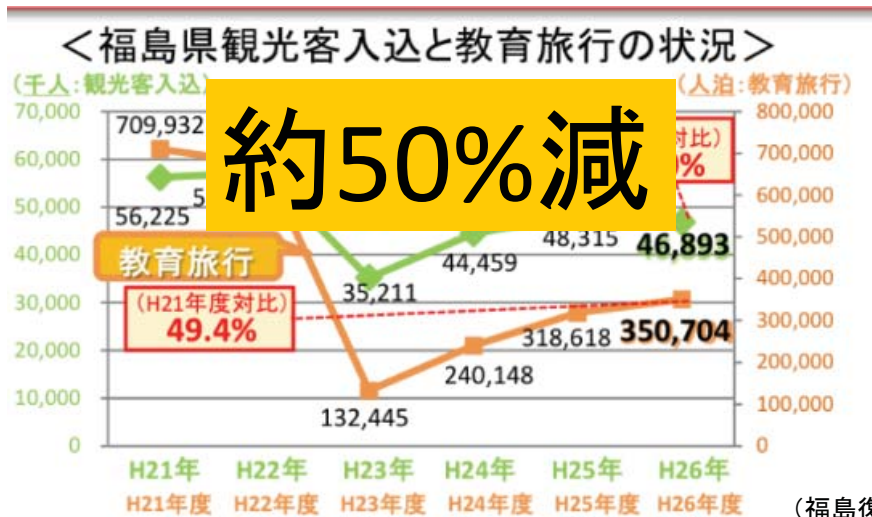


### 3. 現在の福島を取り巻く問題 ①農業



### 3. 現在の福島を取り巻く問題 ②観光

67万人(H22年) → 35万人(H26年)



### 3. 現在の福島を取り巻く問題 ③帰還



## 4. 復興に向けて

### 農業

- 偏見を持たず作物の魅力を知ってほしい

### 観光

- 観光地として魅力あふれ、学びを得られる福島を知ってほしい

### 帰還

- 少子高齢化を反映しており, その対策は将来の日本に生かせる

## 4. 復興に向けて

福島復興の問題は

ローカルな問題ではない